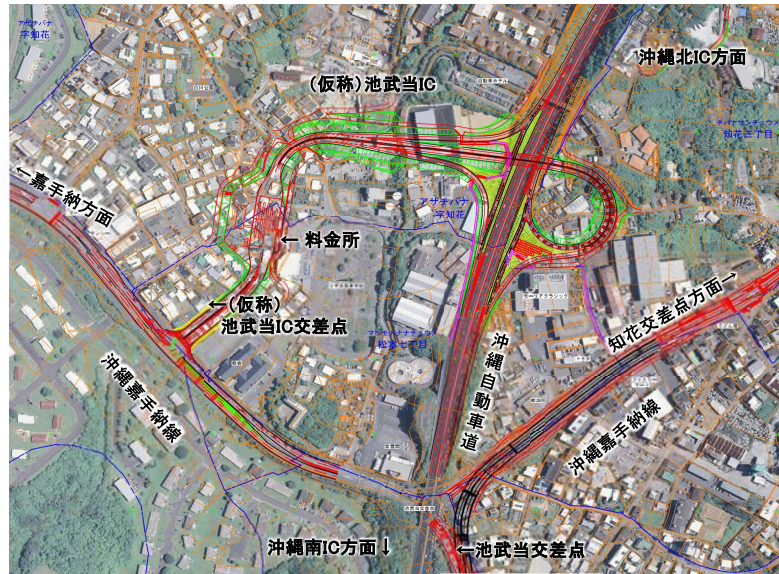
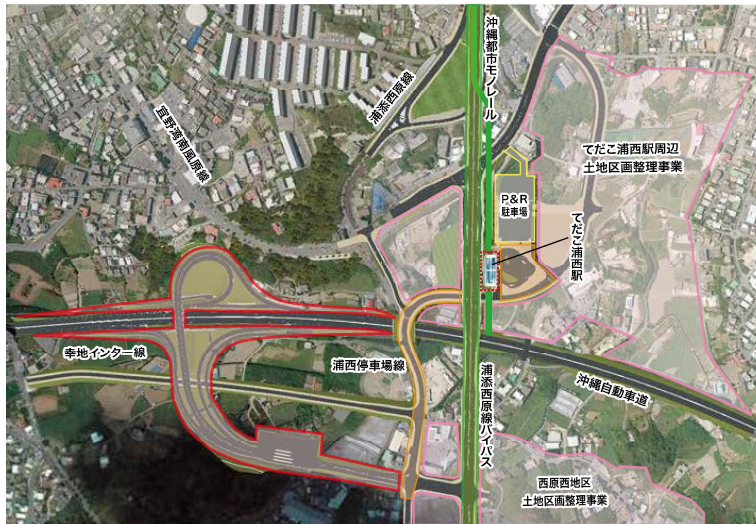




事業開始年度:令和6年度
総事業費:111.0億円

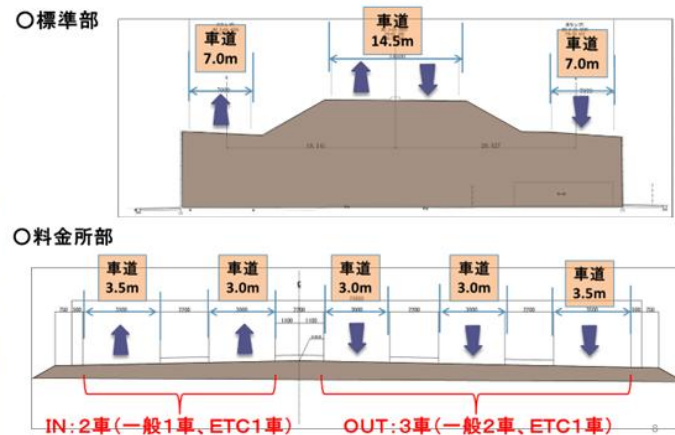
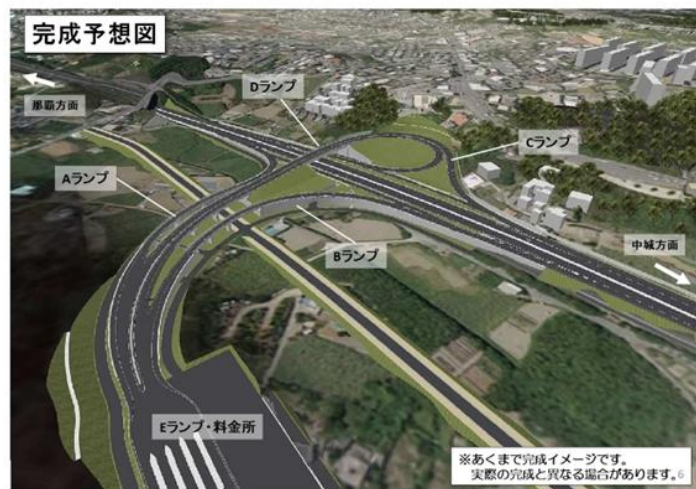
池武当インターチェンジ(仮称)を含む沖縄嘉手納線(松本～知花)は、主要な縦軸幹線である沖縄自動車道と主要な横断道路である沖縄嘉手納線を結ぶ道路であり、ハシゴ道路ネットワークの構築に資するものです。

当該路線の整備により、隣接する沖縄南及び沖縄北インターチェンジの交通負荷が軽減できるため、主要渋滞箇所指定されている両インターチェンジの接続交差点における渋滞緩和に大きく寄与し、また、沖縄自動車道と中城湾港新港地区のアクセス性が向上することから、物流の効率化や産業振興に大きく寄与するものです。



幸地インター線は、沖縄自動車道と浦添西原線(県道38号線)を連結する自動車専用道路です。幸地インター線の整備は主要な横断道路と縦軸幹線を連絡して交通量の多い南北間交通の分散効率化に寄与するものです。

また、沖縄都市モルールと沖縄自動車道との連携による公共交通ネットワークの形成により自動車交通から公共交通への転換を促進し、那覇都市圏の交通渋滞緩和に大きく寄与するとともに、沖縄本島中北部から那覇都市圏へのアクセス性向上に資する重要な役割を担っております。



事業開始年度:平成26年度
総事業費:138.0億円

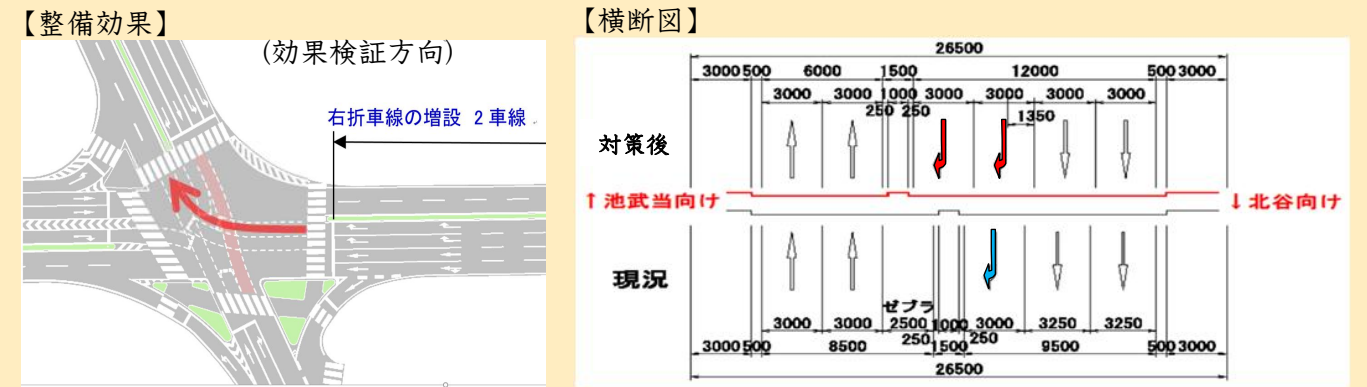
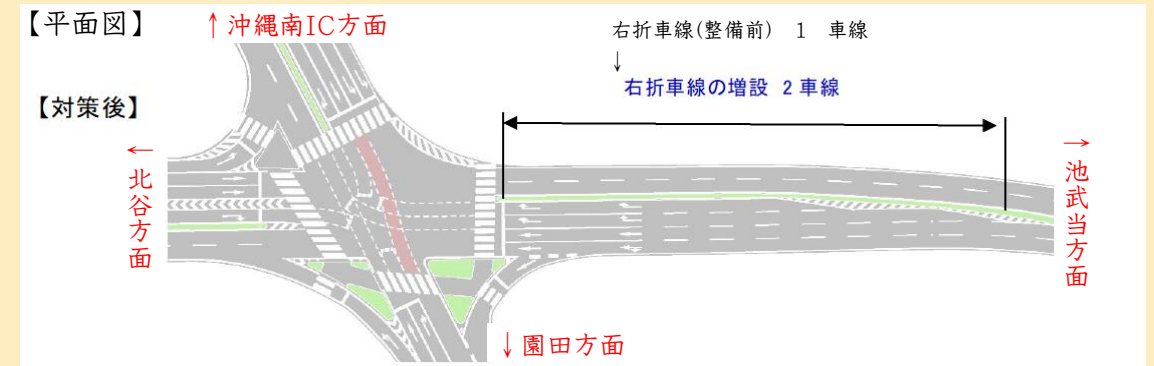
渋滞対策

沖縄地方の厳しい道路交通における渋滞緩和・解消を図るため、国、県、市町村、警察本部、NEXCOの関係者で構成された沖縄地方渋滞対策推進協議会(以下、協議会)において、渋滞箇所の特定、分析及び改善方策等を検討し、交通の円滑化に向け検討を進めています。協議会では、県内の一般道路において166箇所の交差点を渋滞箇所として抽出しており、その内、中部土木事務所管内には64箇所あります。

渋滞の主要因としては道路の容量不足、交差点の容量不足が挙げられ、対策として、道路の容量不足については拡幅やバイパスの整備、交差点の容量不足については車線の設置(右折車線等の追加)や延長があります。交差点の容量不足解消は比較的短期間で対応できることから、拡幅やバイパスの整備と合わせて重点的に対応していきます。

沖縄環状線(沖縄南IC交差点)の渋滞対策

令和元年度、沖縄南IC交差点の沖縄環状線側において渋滞対策を実施しました。当該交差点の沖縄環状線池武当方面側は、沖縄南ICへ右折する車両数が右折車線容量を超過し朝夕ピーク時に渋滞が発生しているため、右折車線を2車線に増やすことで渋滞緩和・解消を図りました。

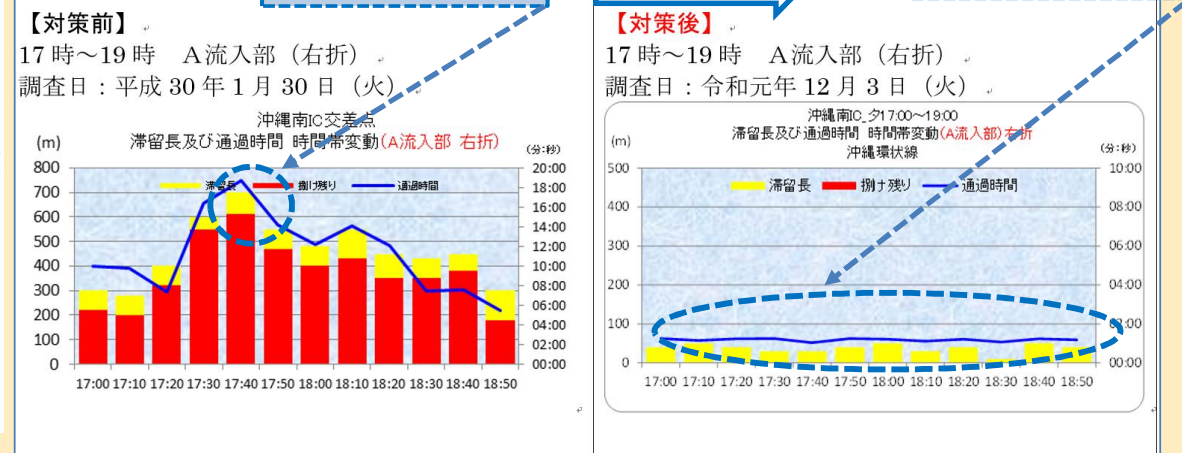


(凡例)

滞留長

捌け残り

通過時間



対策前では、
滞留長:700m
通過時間:18分40秒

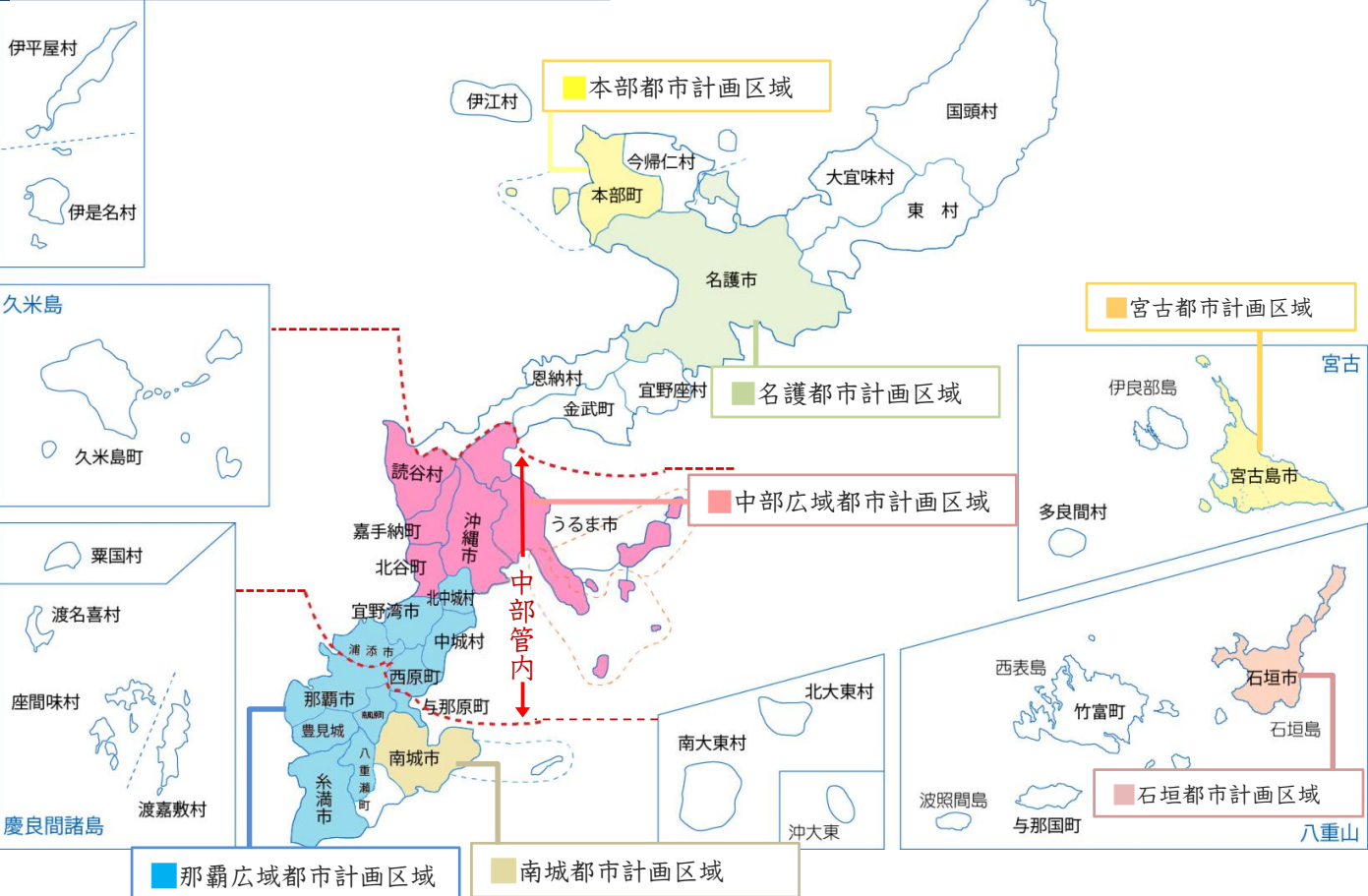
通過時間が最大
17分25秒改善

対策後では、
滞留長:50m
通過時間:1分15秒

都市計画・景観

都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、県土の
均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与します

都市計画マップ



※那覇広域都市計画区域には市街化区域と市街化調整区域が適用されています。

都市計画区域の市町村現状

管内における都市計画区域は、那覇広域都市計画区域に2市1町2村、中部広域都市計画区域に2市2町1村が指定されております。都市計画区域の面積は、約28,327haで、これは県全体の約12.4%にあたります。また、都市計画区域の人口は約64.4万人で県人口の約44%を占めております。

都市計画区域名	都市名	都市計画区域の現況		都市計画区域決定状況		備考
		面積(ha,R8.4.1)	人口(R8.6.1)	法適用年月日	最終決定年月日	
那覇広域	浦添市	1,944	115,232	S40.3.16	R4.11.22	
	宜野湾市	1,980	100,151	S37.7.3	//	
	北中城村	1,154	18,178	S47.4.11	//	
	中城村	1,553	23,120	//	//	
	西原町	1,590	35,066	//	//	
	小計	8,221	291,747	-	-	-
中部広域	沖縄市	4,972	141,200	S31.3.23	R4.11.22	
	うるま市	8,703	127,669	S40.6.25	//	
	読谷村	3,528	41,954	S47.5.12	//	
	嘉手納町	1,512	12,957	//	//	
	北谷町	1,391	28,444	//	//	
	小計	20,106	352,224	-	-	-
中部計（2区域）		28,327	643,971	-	-	-

・面積/国土交通省国土地理院、「令和7年全国都道府県市区町村別面積調書」令和8年4月1日
・人口/沖縄県企画部統計課、「市町村別人口総数及び世帯数」令和8年6月1日

街路

街路は、国土構造、都市構造の骨格を形づくるとともに、日常生活及び産業活動のための交通施設として重要な役割を果たしております。

また、上下水道、電気、ガスなどの公共・公益施設の収容、通風採光など環境条件の確保、災害時は避難路及び防火帯になるなど生活空間、防災空間として多様な機能をもっております。

都市計画街路事業箇所一覧表

令和8年度は5路線で事業継続

都市計画区域	路線名	全体計画		事業認可期間
		延長(km)	幅員(m)	
那覇広域都市計画	パイプライン線	1.83	16.0	平成14年度～令和10年度
	城間前田線(安波茶工区)	0.81	32.0	平成26年度～令和8年度※
	城間前田線(前田工区)	0.70	34.0	平成23年度～令和9年度
	県道153号線	0.36	17.0	平成26年度～令和8年度※
中部広域都市計画	胡屋泡瀬線	3.10	32.0	平成17年度～令和12年度
	県道24号線バイパス	1.72	32.0	平成15年度～令和13年度

※今年度、変更予定

街路事業実施路線図

